

# 2014年度 出向報告書

公益社団法人日本青年会議所  
国家グループ  
真の経済復興創造委員会  
石橋 一寛

## 1. 事業内容

- (1) 日本・ロシア経済交流事業
- (2) 真の経済復興へ向けた JC ビジネスネットワーク開発

## 2. 所感

この度は公益社団法人 日本青年会議所へ出向させていただき誠にありがとうございました。

江口副委員長率いる第3小委員会が担当いたしました日本・ロシア経済交流事業に参加した際、ロシアに渡航し、ロシア側の企業が多数参加されている中で同時通訳プレゼンをさせていただきました。私の説明は日本側の参加者からは大変わかりやすく、また聞きやすかったと好評を得られましたが、肝心のロシア側にはまだ十分に伝わってはいなかったようです。改めて国を超えた意思疎通の難しさを実感いたしました。また事業ではモスクワ市内のマーケットも視察し、現地の日本食や日本の文化の浸透について見聞きすることができました。このロシアでの経験が、現在も続いているロシア輸出への大きな財産となっており、大変貴重な経験をさせてもらったと感謝しております。

真の経済復興に向けた JC ビジネスネットワーク開発（CATAL）では、自社の仕事について全国の JC 会員に向け発信できたとともに、逆に全国の会員の仕事について知ることができました。掲示板を通じてメンバー同士が直接連絡を取り合い、様々な業種が有機的に結びつき新たな産業を生み出せるこのシステムは、JC メンバーだからこそその信頼と安心があって成り立つものです。一般的に他産業との結びつきは信用問題が大きく、なかなか前進が難しいとされていますが、同じ JC の仲間としての信頼はこのような場面でこそ、その真価が発揮されると思います。私も情報交換の中、自分の事業に繋がれることができ、今後とも事業を活用していきたいと考えています。

このように、今は日本青年会議所の中でもビジネスを JC 活動に取り入れる動きが見受けられます。従来 JC 内でのビジネスは御法度のところもありましたが、これからは経済活動が新たな JC の魅力に繋がることも考慮しなければならないのかもしれないかもしれません。もちろん守るべき所は守り、3信条に基づいた活動が原則ですが、新たなステージへの変化も迫られているようにも感じられました。

最後になりますが、本年度は多くの貴重な体験を日本青年会議所でさせていただきました。送り出していただきました LOM スタッフ並びに長岡青年会議所メンバー全員に深く感謝申し上げますとともに、これからの更なる発展を祈念しております。ありがとうございました。